

第6号 (2014年2月発行)

発行：根津地区まちづくり協議会
文京区都市計画部地域整備課
TEL：(03) 5803-1375
メール：b402400@city.bunkyo.lg.jp
ホームページ：http://www.city.bunkyo.lg.jp

第5回まちづくり検討部会(防災まちづくり勉強会)を開催しました!

これまでのまちづくり検討部会で、「防災性を高めるための制度をもっと周知する必要がある」とのご意見もあり、根津地区の大きな課題となっている防災まちづくりに関する勉強会を1月21日(火)に不忍通りふれあい館にて開催しました。



15名の方が参加し、根津の防災性を考えたよ。

—首都直下型地震の危険性と根津の防災力—

第1部では、「なぜ、根津で防災性を高める必要があるか」を再確認するため、国や都の調査などを用いて、30年以内に発生する可能性の高い首都直下型地震による被害想定や根津地区の災害時の危険性などについて、数字で確認していきました。

M7級の首都直下型地震
30年以内に **70%**の確率で発生

被害想定(※)

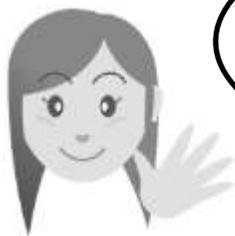
死者数 約 **2万3千人**

全壊・消失 約 **61万棟**



約7割が火災による被害
特に木造密集市街地で延焼が拡大

中央防災会議首都直下地震対策検討
ワーキンググループ資料



今回は、特に建物による倒壊の危険性、火災の延焼の危険性を見てみたよ。

東京都が行った、第7回地震に関する地域危険度調査からは、根津2丁目が文京区内で最も危険度が高いという結果が確認されました。

建物倒壊危険度 = 4 (5段階で2番目に危険)
⇒都内全 5,133 の町丁目中 **299位**

火災危険度 = 5 (5段階で最も危険)
⇒都内全 5,133 の町丁目中 **24位**

建物が倒壊し、下敷きとなる被害や避難・救助が困難となる危険性が高い

同時多発出火によって、消火が困難となり、人的被害が発生する危険性が高い

根津2丁目は、揺れやすい地盤の上に耐震性や耐火性の低い木造住宅が密集していることに加えて、道路幅員も狭く、建物倒壊による道路閉塞や延焼の危険性が高いことが、物理的な防災環境の課題として挙げられます。

※最悪の被害となる冬夕方(風速8メートル)のケース

ー根津の防災性を高めるための方策を考えようー

第2部では、第1部の説明を基に2グループに分かれて防災性を高めるために必要なことについて意見交換を行いました。

意見交換にあたっては、物理的な防災環境を向上させるための一つの方策である『建築物の建て替え促進』に活用できる制度等をご紹介しながら進めました。



<今回ご紹介した制度>

文京区耐震改修促進助成事業

街並み誘導型地区計画

連担建築物設計制度

共同化

制度の内容を知りたい方は
お問合せ下さい。

<意見交換での主なご意見（抜粋）>

- 今のままで地震が来たら、手遅れになってしまう。
- 危険だとは知っていたが、これほどまでとは思わなかった。
- こうした場に人が集まらず、防災に対する個人の意識を高めないといけない。
- 建て替えにあたっては資金面と権利関係、後継者が大きな課題。
 - ⇒補助金や建て替えをしやすくするための規制緩和、小規模な面的整備などが必要
 - ⇒全てを行政に任せるのではなく、住民の積極的な参画が必要
 - ⇒建て替えにあたってはルールが必要だが、厳しいと足かせになる
 - ⇒モデル的に検討することも重要
- 建て替えだけでなく、感震ブレーカーの設置促進や住民で出来る防災活動など様々な取り組みを複合的に行うことが大切。

防災まちづくりは一朝一夕で進むものではありません。今後も継続して開催していきたいと思えます。

第6回まちづくり検討部会を開催します！

初めての方でも歓迎！
お待ちしております！

いよいよ今年度最後の検討部会です！

今年度、皆さまと検討してきた内容が実現につながるよう、今後の進め方も含めて意見交換をしたいと思えます。ぜひ、ご参加ください！

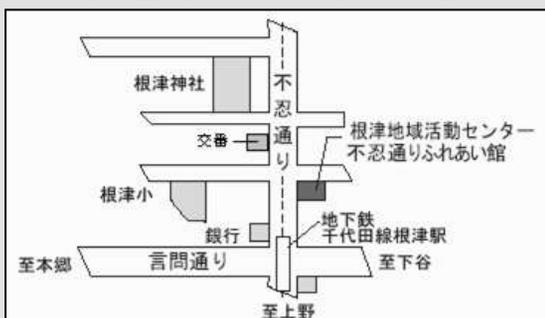


●第6回 まちづくり検討部会のお知らせ

内容：地区計画などのまちづくりルール
（素案）の検討

日時：2/24（月）
19時00分～（1時間30分程度）

会場：不忍通りふれあい館地下ホール



《お問い合わせ先》

〒112-8555

文京区春日1丁目16番21号

文京区 都市計画部 地域整備課

まちづくり担当 前田、安藤、宇田川

TEL: (03) 5803-1375

FAX: (03) 5803-1376

メール: b402400@city.bunkyo.lg.jp